

## 議会運営委員会

### 【若林 志津子 委員長コメント】

11月議会の開会日に、議長が所信表明で述べた「富士宮市議会政治倫理条例制定特別委員会の設置について」を提案し、全会一致で可決されたため、特別委員会が設置されました。

各会派から選出された委員で構成された第1回目の特別委員会にて、鈴木弘委員が委員長に互選され、(仮称)「富士宮市議会政治倫理条例」制定に向けてスタートを切ることができました。

議会の不祥事に対する市民皆様からのご意見等を受け止め、信頼回復への大きな一歩を踏み出しました。今後は、民主的で議員一人一人の発言を尊重する富士宮市議会となるよう、また市議会で何を議論し、何を決めているかなど、市民皆様が関心を寄せていただける市議会となるよう、引き続き「議会改革」と「議員定数」について取り組んでまいります。



## 総務文教委員会

### 政策課題

#### ●公立中学校制服選択制の導入について

### 【齋藤 和文 委員長コメント】

補欠選挙後、初めての当委員会開催となり新たに船山恵子委員が加わりました。

当委員会では、「公立中学校制服選択制の導入について」を引き続き調査検討し、これまでの経緯及びこれからの方向性を議論しました。また、12月には富士市公立中学校の先行事例を視察させていただきました。

12月1日発行の議会だより表紙では、富士宮西高校の今冬からのブレザー用スラックス導入が題材にされており、市内の高校や公立中学校でも導入の検討がされ始めているところです。委員会の中で議論を活発化させ、すべての公立中学校で議論されるように、学校生活において快適な環境づくりを目指し、議員自ら生徒目線で後押しをしていきたいと思えます。



## 産業都市委員会

### 政策課題

#### ●ふじのみやの一次産業イノベーションについて

### 【佐野 孜 委員長コメント】

畜産業の一番の課題は、畜産ふん尿処理であると考え、今後は畜産ふん尿処理について検討していくことに決定し、松下牧場と富士丘第一堆肥センターを見学しました。

富士丘第一堆肥センターは、松下牧場を含む周辺牧場のふん尿を処理し堆肥化しています。堆肥処理は、ふん尿の固形分のみで、牧場では固形分と水分を独自の方法で分離し、固形分を堆肥センターで完熟堆肥化しており、現在は、道路工事等の法面緑化対策で大量受注があり供給が間に合わない状態とのことでした。今後は、朝霧地区で飼育されている家畜の総数、一日に排出されるふん尿の総量、牧場経営者や民間の堆肥製造工場等で堆肥処理できている量など、市の現状を把握するとともに、畜産ふん尿の堆肥化やバイオマス事業について調査を進めてまいります。

